

miratap

底

マスカライーブス

組立設置説明書

17-MKE01S-00

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。

●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。



禁止



実行



注意

お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



商品の組立・施工は必ず説明書に従ってください。



底の上に物を置かないでください。

物が落下し、物の破損だけでなく、人身事故、物損事故の原因となります。



底に乗る、ぶら下がる、寄りかかる等、無理な力をかけないでください。またロープやはしごをかけないでください。

商品の破損や転落など、思わぬ事故につながるおそれがあります。



設計荷重が、耐荷重性能以下であることを確認してください。（耐荷重：3593 N /㎡）

設計風力が耐風力性能以下であることを確認してください。（耐風圧力：2286 N /㎡）



雪が上部の屋根等から直接落下する場所には取付けないでください。



作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様がおこなってください。



積雪が耐荷重性能を超える前に必ず雪おろしをするようにしてください。



シーリングは指定箇所すべてに対し、必ずおこなってください。

漏水の原因となります。



注意

「障害を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容



直射日光などで庇表面が熱くなる場合があります。夏季は特にやけどしないようご注意ください。



商品ご購入後、設置までに時間を要する場合は、雨・雪のかからない場所に保管ください。



お手入れで、洗剤を使うときは必ず中性洗剤を薄めてご使用ください。酸・アルカリ性洗剤、有機溶剤は使わないでください。金属ブラシ・ヘラ等は表面を傷つけ劣化を早めますので使用しないでください。



作業時は作業用手袋を着用し、製品の角等で手を切らないように注意してください。

1 設置前の注意・確認

《設置前のご注意》

- 商品の組立・施工については、必ず本説明書に従い取付けの際は必ず2人以上で作業してください。
- 建築工事でサッシ周辺の防水処理のうえ、商品本体のシーリングは説明書に従い確実にしておこなってください。
- 本商品の取付けは、幅 80mm 以上の堅固な下地に固定してください。
- 商品の品質確保のため、搬入は必ず2人以上で手運びにておこなってください。
※車上渡しとなります。
- 商品を開梱して、外観に損傷がないこと確認してください。万が一商品にキズや凹みなどがございましたら3日以内にご連絡ください。
※設置後の損傷は保証対象外となります。
- 次の場所へは取付けはできません。
 - ・ 予めタイルが貼られた外壁
 - ・ ラップサイディング、コテ仕上げ等の凸凹が著しい壁面、または突起物がある壁面
 - ・ 著しい高温や低温の環境や、急激な温度変化のあるところ
 - ・ 工場地域や塩害のおそれのあるところ
 - ・ 振動や排熱・腐食性ガス、薬品や油分・鉄粉などの影響のあるところ
- 通気工法の場合、庇の取付位置に胴縁があることを確認してください。
※胴縁がない場合は、あらかじめ胴縁下地材を入れていただくように建築施工業者と相談してください。
- コーチネジは指定ピッチで必ず幅 80mm 以上の堅固な下地材に取付けてください。
※構造用合板のみでの取付けはしないでください。
- コーチネジは必ず下穴をあけてシーリング材を充填してから、たたき込まず確実に躯体にねじ込んでください。
- 指定の部品以外は使用しないでください。
- 本体の取付けの際は、仮設置後に放置せずに、ただちに本締めしてください。
- 施工後、各部の締め忘れやゆるみがないか、よく確認してください。

《設置前の確認》

- 施工前に図面などから、柱、間柱、まぐさの位置、外装材の厚さ、下地の寸法を確認してください。
- 本商品の取付位置に堅固な下地材があることを確認してください。



本商品の取付けには、躯体強度の確保と適切な固定方法が必須になります。事前に計画いただき、施工してください。

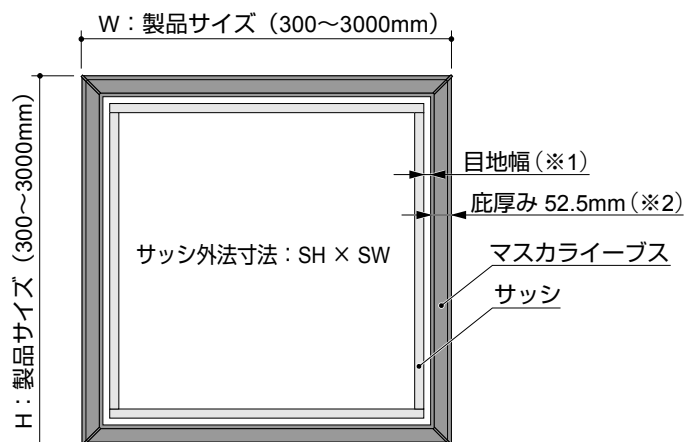
《製品サイズ算出方法》

■ 木造

$$\text{サッシ外法寸法 (SH / SW)} + \overset{\text{※1}}{\text{目地幅}} \times 2 + \overset{\text{※2}}{105} = \text{製品サイズ (H / W)}$$

※1 目地幅は任意の寸法になります。例：10mm × 2 = 20mm

※2 底厚み 52.5mm × 2 = 105mm



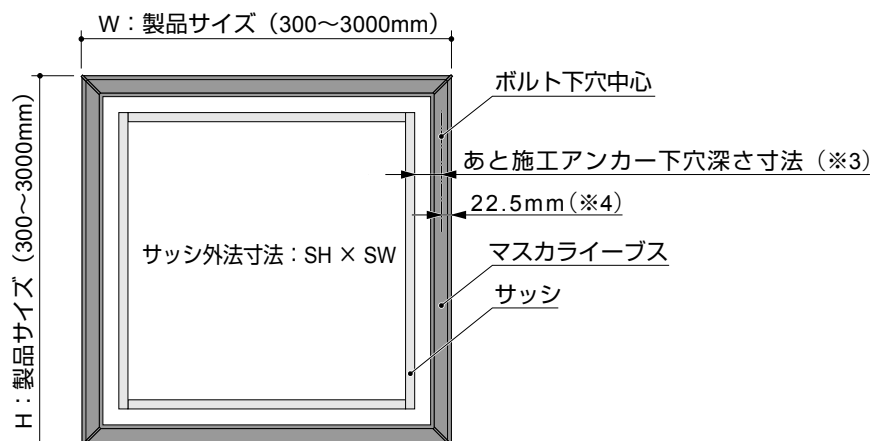
- サッシ外法寸法を基準に計算してください。
- 底が目地と被らないように製品サイズを決めてください。
- 別途添付の図面をご参照のうえ、指定寸法以上の下地をご用意ください。

■ RC 造

$$\text{サッシ外法寸法 (SH / SW)} + \overset{\text{※3}}{\text{あと施工アンカー下穴深さ寸法}} \times 2 + \overset{\text{※4}}{45} = \text{製品サイズ (H / W)}$$

※3 グリップアンカー M6 推奨（下穴深さはメーカーにご確認ください）

※4 22.5mm（ボルト下穴中心から底上面までの高さ）× 2 = 45mm



- RC 躯体に設置の場合はあと施工アンカー下穴深さの2倍以上の位置を確保し、鉄筋に干渉しないよう、別途添付の図面をご参照のうえ計算してください。
- あと施工アンカーとボルトは同梱されていません。

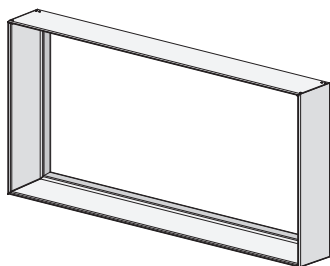
2 同梱部品一覧・各部の名称

◎マスカライーブス

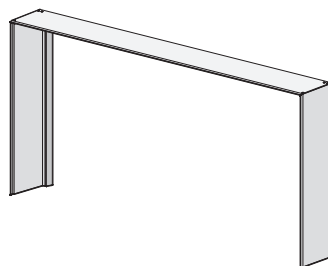


■ タイプ別参考姿図

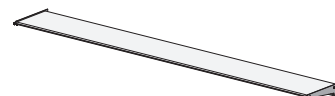
スクエア



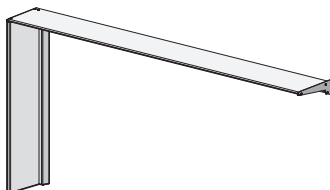
ゲート



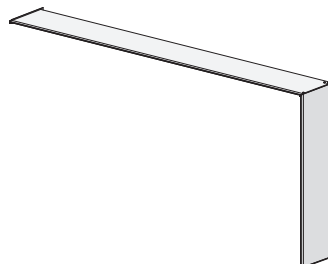
フラット



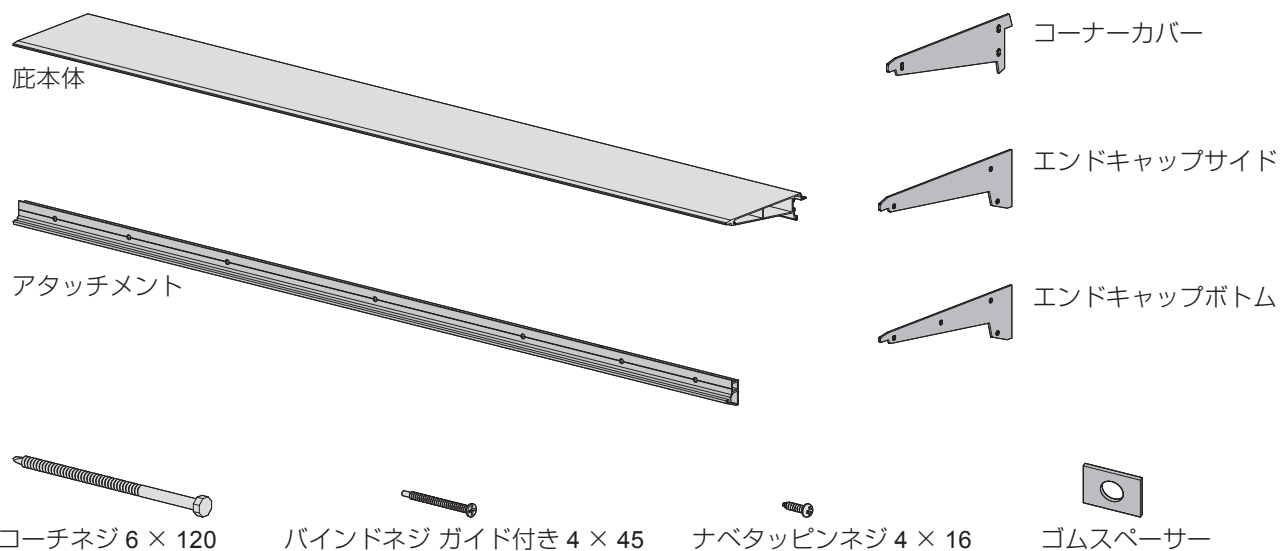
コーナー（左）



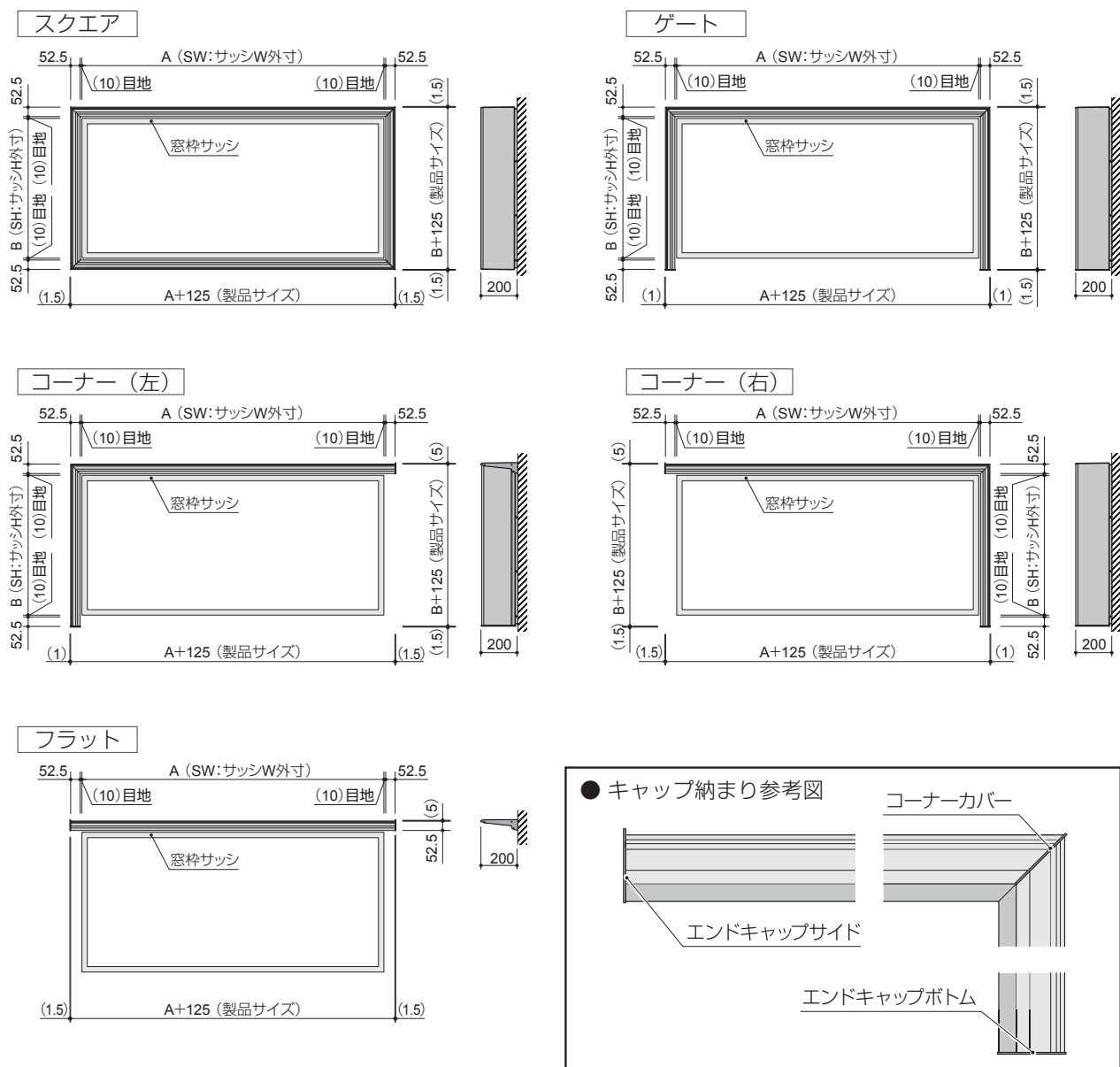
コーナー（右）



■ 部材一覧



■ 納まり図



3 設置手順

※ スクエアタイプ手順



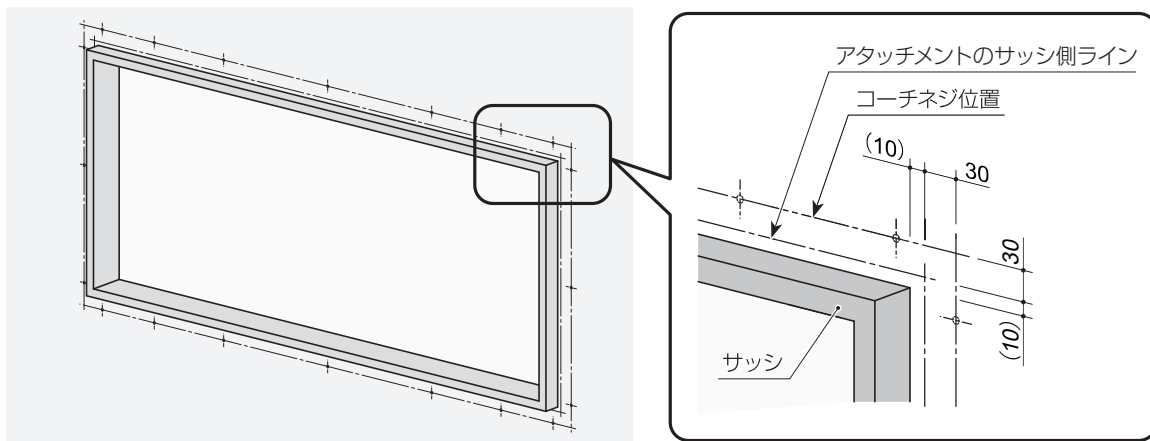
- 建物建築図面を確認して、下地材、外壁種類、胴縁等の配置寸法を確認ください。
- 外壁がタイル貼り仕様の場合、製品施工後にタイル施工を行い、タイルと庇が干渉しないよう納めてください。



- 衝撃荷重は対応外のため、屋根の雪が直接落ちる場所への設置は不可となります。
- 庇取付部裏面に下地材が無い場合は、製品の取付けはできません。
- 外壁面の凹凸が大きく、突起のある場合は製品の取付けはできません。
- 壁厚条件は、躯体表面から外壁外面までの寸法が **50mm** 以下にしてください。
- 予めタイルが貼られた外壁の場合、取付けはできません。

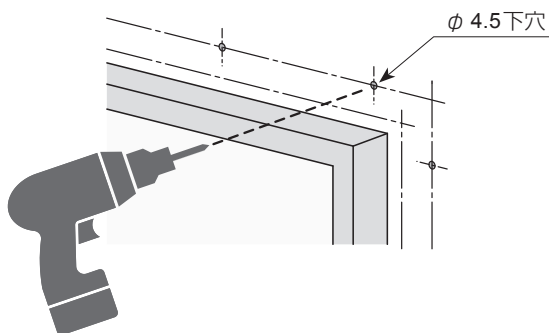
1. 墨出し

- ① サッシの外周から、オーダー時に設定された目地幅に従って墨出しをおこなってください。(アタッチメントのサッシ側ライン)
※ 図面では参考に目地幅 **10mm** としています。
- ② ①の墨出しラインから外側 **30mm** の位置に、アタッチメント固定用コーチネジの下穴墨出しをおこなってください。
※ アタッチメントには下穴加工されていますが、別途図面にて下穴位置を確認してください。



2. アタッチメントの取付け

- ① アタッチメント固定位置に $\phi 4.5$ の下穴を開けてください。
※ 壁に対して直角に下穴を開けてください。
※ 割れやすい窯業系サイディングなどの場合は、コーチネジ径 ($\phi 6$) 程度の下穴を板厚分だけ貫通させるように開けてください。



- ② 不陸の調整後、アタッチメント固定用の下穴にシーリング材の充填をおこない、上部のアタッチメントをコーチネジで外壁へ仮留めし（両端のみ仮留め）、アタッチメントを壁面に当てがい、ねじれ・不陸がないか確認してください。

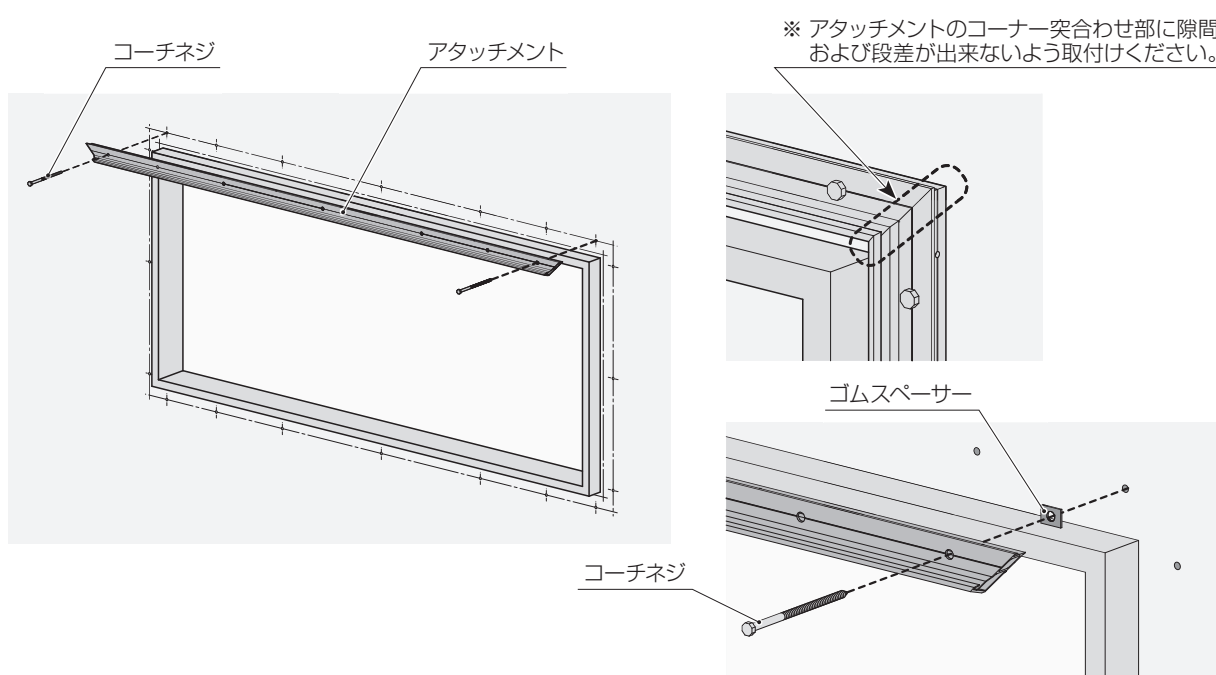
※ 長尺の場合は両端と中央の3点でコーチネジの仮留めをおこなってください。

※ コーチネジが、斜め打ち、過トルクにならないよう注意してください。

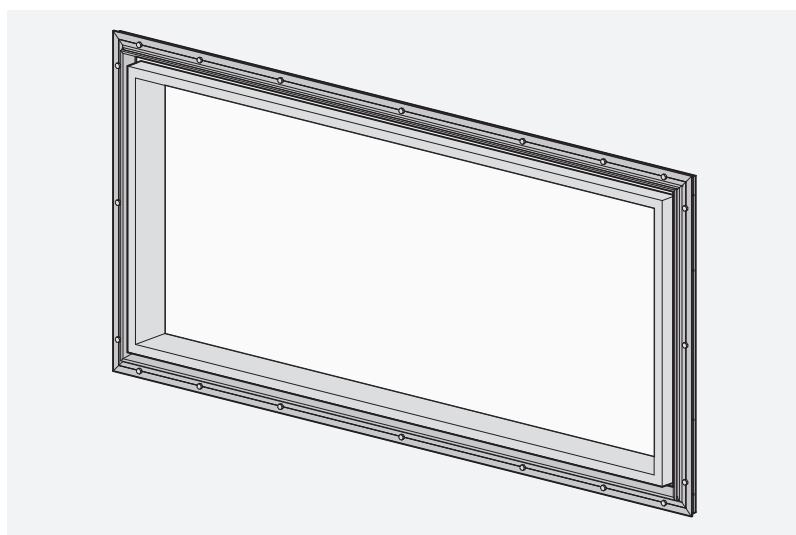
※ フラットタイプ以外の庇を施工する場合は、アタッチメントのコーナー突合わせ部に隙間および段差が出来ないように取付けください。

《ねじれ・不陸がある場合》

- アタッチメントと外壁の間に隙間がある場合は、付属のゴムスペーサーで調整をおこなってください。（ゴムスペーサー貼り付け位置は、コーチネジが貫くアタッチメント裏面の2本のリブの間に貼ってください）
- 調整代が足りない場合は、重ね貼りや、リブをまたいでゴムスペーサーを貼ってください。



- ③ 残りのコーチネジでアタッチメントを固定してください。
- ※ コーチネジを打った面が、壁面に対してねじれずにフラットに固定されているか確認してください。
- ※ アタッチメントが、ガタツキなく、確実に固定されているか確認してください。
- ④ ①～③の手順で残りの三方を固定してください。



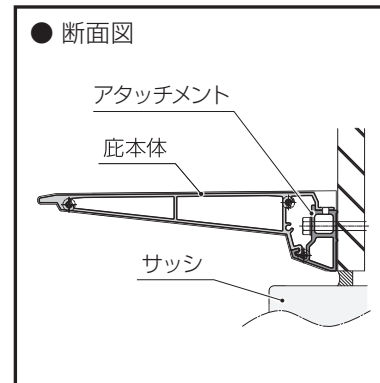
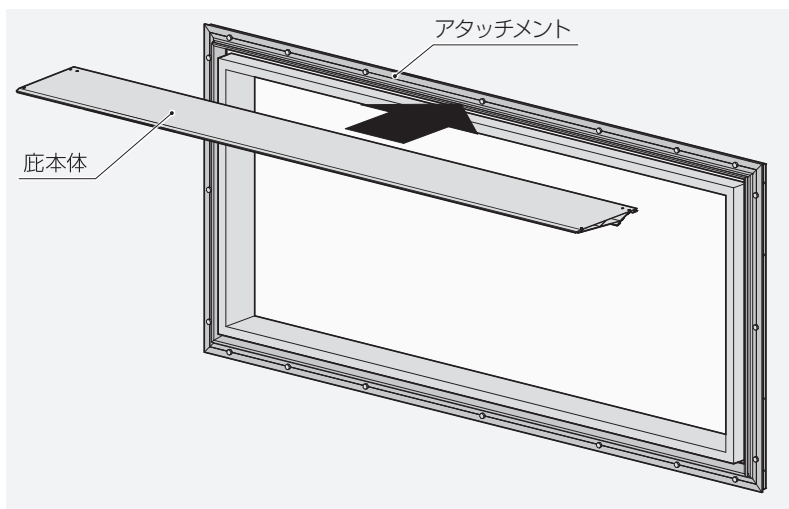
- ⑤ 四隅に隙間・面段差がなく、直角であることを確認してください。
- ※ この段階で上記不具合が残ると、庇本体施工後の納まりに影響が出ます。

3. 底本体の取付け

- ① 上部の底本体をアタッチメントに引掛けるように仮固定してください。

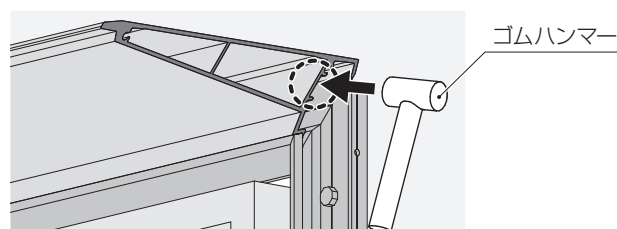
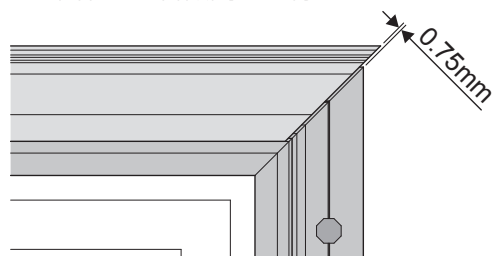
※ 底本体を引掛ける際にアタッチメントと嵌合しづらい場合は、不陸が原因となることがあります。
(再度アタッチメントの調整をおこなってください)

※ 底本体が水平になっているか確認してください。(水平になっていない場合は、再度アタッチメントの調整をおこなってください)



- ② コーナーカバーを後工程で挟み込むため、底本体の両端がアタッチメントより約 0.75mm 内側になるように、コーナーカバーをあてがうなどして左右の位置関係が同じになるように調整してください。

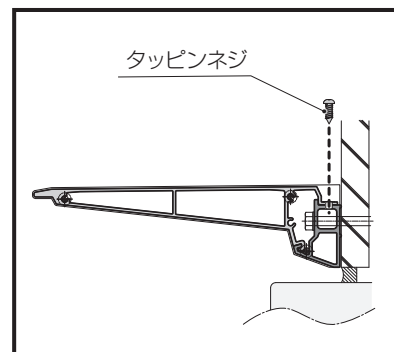
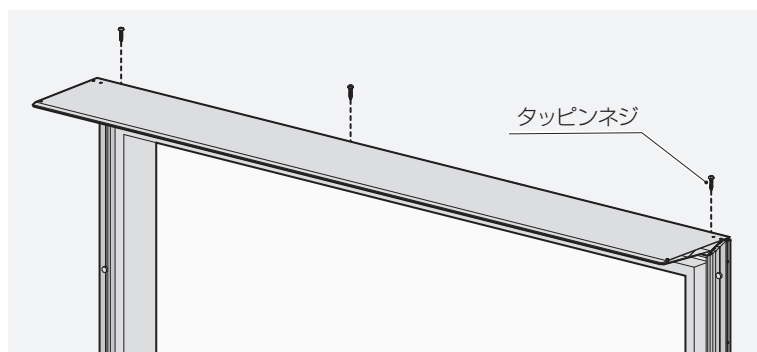
※ 底本体の左右微調整の際は、ゴムハンマーで底本体の点線部位を叩いて調整してください。



※ 微調整の際は、○部分をゴムハンマーで叩いて調整してください。

- ③ 底本体の左右調整後、底本体とアタッチメントを付属のタッピンネジで仮固定してください。

※ 底本体の落下防止の為、両端と中央をタッピンネジで仮固定してください。



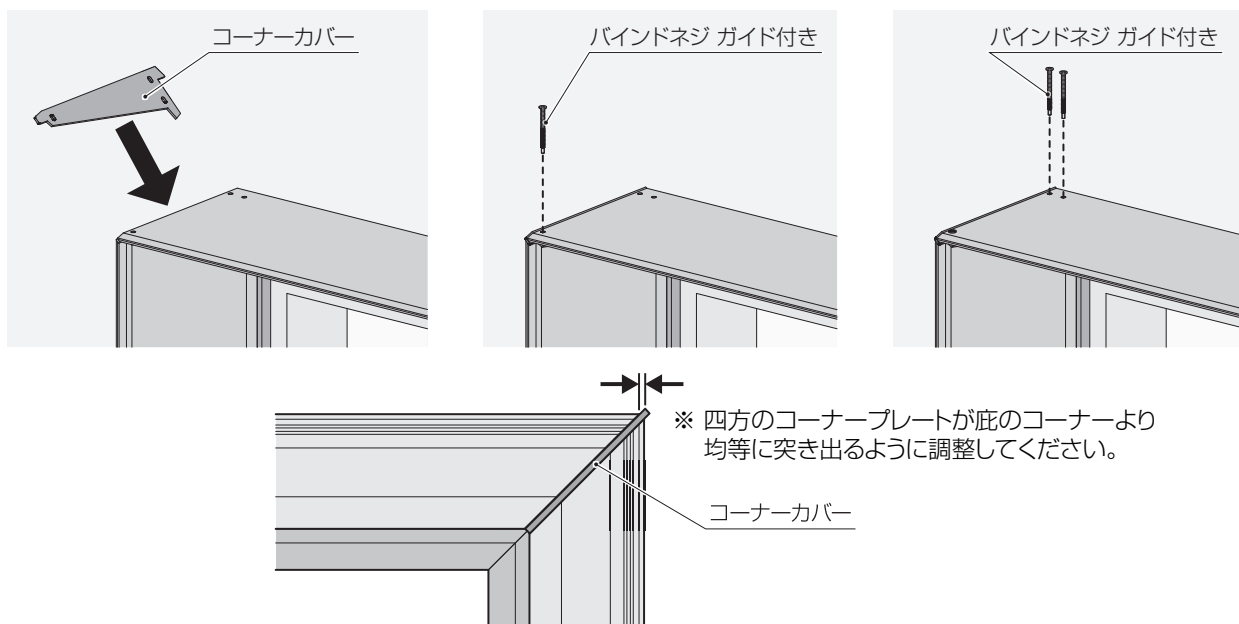
タッピンネジは壁際で固定するため、電動ドライバーが入りづらく斜めに打ち込んでしまうおそれがあります。最初は手回しドライバーで真直ぐ締め込み、ロングビットで本締めしてください。

- ④ ①～③の手順で残りの三方を仮固定してください。

※ 各コーナーはコーナーカバー挿入用の隙間が空きます。

4. コーナーカバーの取付け

- ① 各コーナーの隙間にコーナーカバーを差し込み、先端 1 ケ所をバインドネジ ガイド付きで仮固定してください。
※ 四方のコーナーカバーが底のコーナーより均等に突き出るように調整してください。
- ② 各コーナーカバーの残り 2 ケ所をバインドネジ ガイド付きで仮固定してください。



バインドネジ ガイド付きは、先端にネジ山がなく下穴に真直ぐ挿入できる仕様になっていますが、垂直に打ちこめるように最初は手回しドライバーでゆっくりと締めてください。

5. 各ネジの本締め

底本体のズレ、傾き、コーナー部のすき間を確認したのち、底本体、コーナーカバーの全てのネジを本締めしてください。

※ 底本体のガタツキがないことを確認してください。

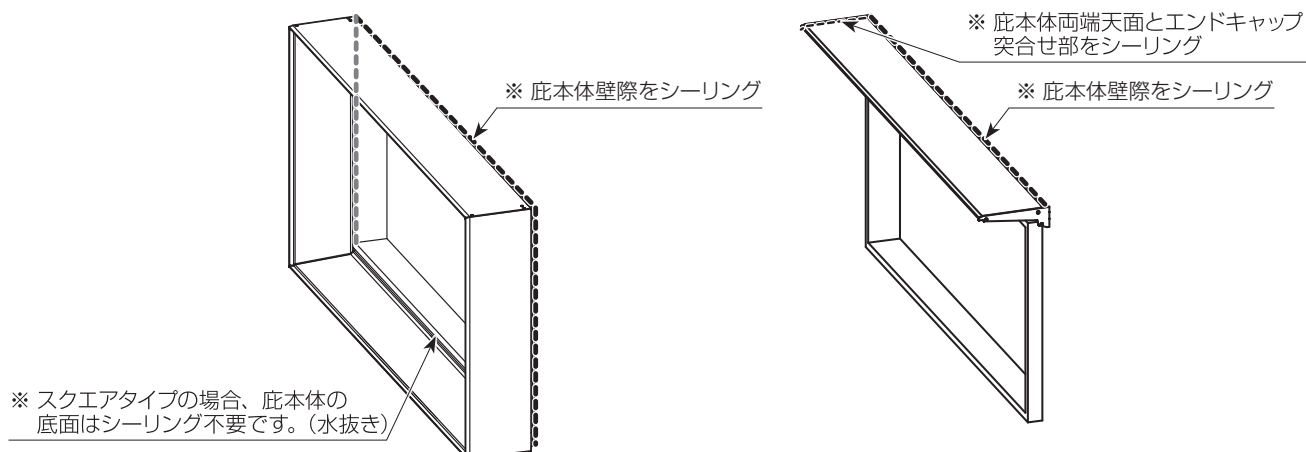
※ 適宜緩み止めを塗布してください。

6. 壁際のシーリング

底面以外の底本体壁際に底本体同系色のシール材を使用し、シーリングを実施してください。

※ 外壁と底本体天面（壁際）にマスキングテープで養生し、はみ出ることなくタッピンネジが隠れるようにシーリングしてください。

※ フラットタイプは、底本体両端天面とエンドキャップ突合せ部にマスキングテープで養生し、5mm 幅で三角シーリングを行ってください。（壁際～底先端まで）



4 設置後の確認

- 庇本体やコーナーパーツ類にがたつきがないか確認してください。
- 各種ネジ、締め忘れやゆるみがないか確認してください。
- シーリング処理が確実に施されているか確認してください。

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

●お客様相談センター

受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。

<https://www.miratap.co.jp>

TEL: 0120-468-838

FAX: 0120-382-096

